



第**109**期 中間報告書
平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

NOK株式会社



Top Message

●株主の皆様へ



取締役会長
取締役社長

鶴 正 登

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、当社グループの第109期上期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の中間報告書をお届け申しあげ、当上期の業績につきご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申しあげます。

当社グループは、経営の基本として「技術に裏打ちされた独自性ある、

かつ社会に有用な商品を世界中で安くつくり適正価格で売る」ことにより高い収益力を持つ強い企業集団をつくりあげることが重要と考え、この考えに基づき事業経営を展開しております。

当上期の当社グループを取り巻く経営環境は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、設備投資や公共投資が堅調に推移する等、景気は緩やかに回復を続けました。

こうした状況の下、当社グループは将来を見据えて持続的に成長発展していけるよう、各種施策を推進してまいりました。

当上期の連結業績といたしましては、売上高は3,139億5千1百万円（前年同期対比14.0%の増収）、営業利益は255億4千9百万円（前年同期対比186.7%の増益）、経常利益は308億7千9百万円（前年同期対比112.7%の増益）、純利益は187億2千7百万円（前年同期対比155.2%の増益）となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、下期も国内の景気は引き続き緩やかな回復を続けていくとみられます。一方で、東南アジア等新興国での経済成長の鈍化や国内での駆け込み需要の反動の長期化等、景気を下押しする要因が懸念されます。

シーリング事業では、中国・インドネシア等での自動車の需要拡大に伴い、海外生産拠点での生産拡大が続いておりますが、現地での人件費の上昇、および海外の競合他社との競争の激化等が課題となっております。これらに対応すべく、省人・自動化や、最適地生産・地産地消の考え方に基づく生産体制の効率化に引き続き取り組んでまいります。

電子機器部品事業では、競争の激化による製品販売価格の下落や、需要増減の振幅の拡大等が課題となっております。これらに対応するため、省人・自動化や品質改善等によるさらなる競争力向上を図るとともに、新規顧客への拡販等による受注の平準化や、自動車・医療機器等への用途拡大を進め、収益力の改善・強化を図ってまいります。

ロール事業では、事務機の技術進展や高耐久化による補修部品市場の縮小が続いております。そのため、営業・生産・技術一体となって拡販に取り組むとともに、当社グループのシナジーを発揮して、収益力の向上を図ってまいります。

このような経営環境の中、当社グループは当期より取り組んでおります「『持続性ある成長への基礎固め』－現業の足固めと新商品・新ビジネスの創出」と題した3カ年計画を推進しております。詳細は、後記の「NOKグループ3カ年計画」をご参照くださるようお願いいたします。

これらの施策を着実に実行して、持続的な成長を目指し、全グループ一丸となって邁進する所存であります。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき15円とすることといたしました。

以上、当社といたしましては、今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、鋭意努力してまいります所存であります。

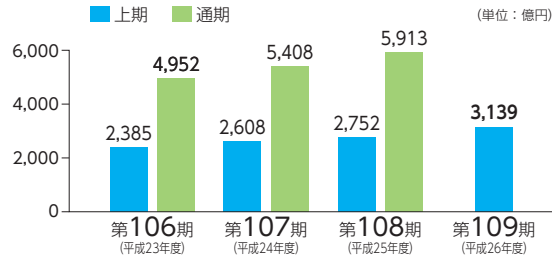
株主の皆様におかれましては、当社グループを取り巻く環境と経営の方向、さらには私どもの決意の程に深くご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成26年12月

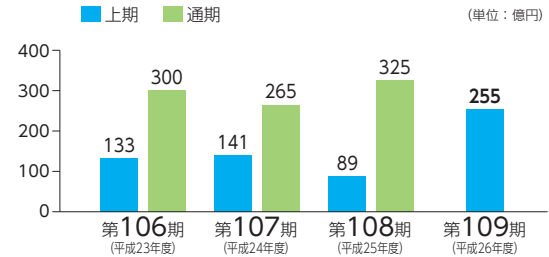
Financial Highlight (Consolidated)

●財務ハイライト（連結）

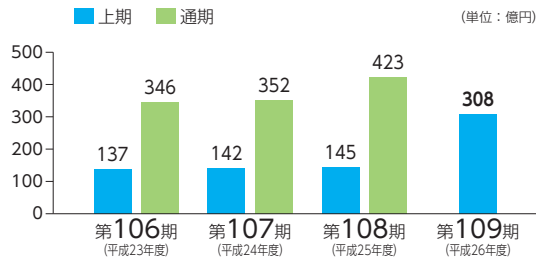
売上高



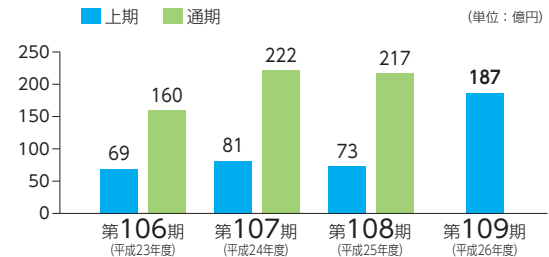
営業利益



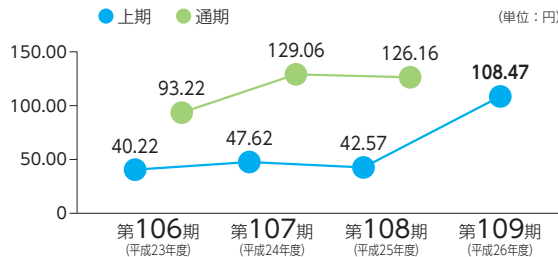
経常利益



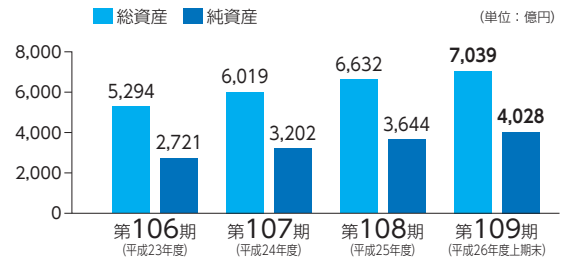
上期(当期)純利益



1株当たり上期(当期)純利益



総資産／純資産



Business Overview

●事業別の状況（連結）

● シール事業

自動車向けについては、タイで需要減少の影響があったものの、国内での自動車生産が堅調であったこと、および中国・北米での需要が好調であったことから、販売は増加しました。一般産業機械向けについても、国内外で需要が堅調に推移したことから、販売は増加しました。その結果、売上高は1,463億1千5百万円（前年同期対比4.6%の増収）となりました。営業利益は、新興国における人件費・経費等の増加があったものの増収等により、157億2千5百万円（前年同期対比21.2%の増益）となりました。



オイルシール

● 電子機器部品事業

デジタルカメラ向けの販売は低調でしたが、スマートフォン、ハードディスクドライブ、タブレット端末、および車載向けの販売は増加しました。その結果、売上高は1,470億3千9百万円（前年同期対比26.9%の増収）となりました。営業利益は、スマートフォン向け新規品投入による増収および歩留り改善等により、81億5千2百万円（前年同期は51億7千9百万円の営業損失）となりました。



フレキシブルサーキット (FPC)

● ロール事業

高耐久化による複写機向け補修部品等の受注減の影響もありましたが、カラー機を中心に欧米等海外市場でプリンター・複写機向け製品の需要が増加したことにより販売は増加しました。その結果、売上高は148億2千万円（前年同期対比6.5%の増収）となりました。営業利益は、原価低減等により、12億3千2百万円（前年同期対比65.8%の増益）となりました。



現像ロール・帯電ロール

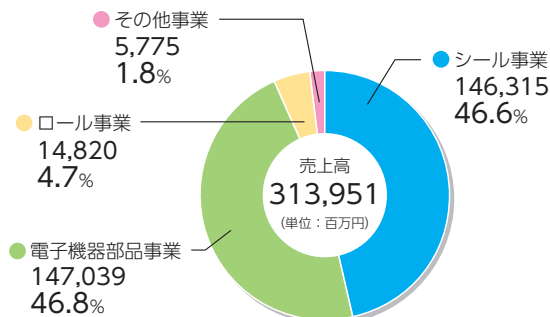
● その他事業

特殊潤滑剤等のその他事業では、売上高は57億7千5百万円（前年同期対比3.8%の増収）となりました。営業利益は、販売品目構成の良化により、4億3千万円（前年同期対比28.9%の増益）となりました。



特殊潤滑剤

事業別売上高構成比(連結)



■NOKグループ3カ年計画

当社グループでは、平成26年4月から平成29年3月までを期間とする「3カ年計画」を策定し実行しております。ますます拡大する海外事業の適切な管理、品質力のさらなる向上や新商品の開発、ならびにこれらを担う人材の育成に力を入れ、将来を見据えて当社グループが持続的に成長発展していけるよう、下記方針に基づき、全社一丸となって邁進、努力してまいります。

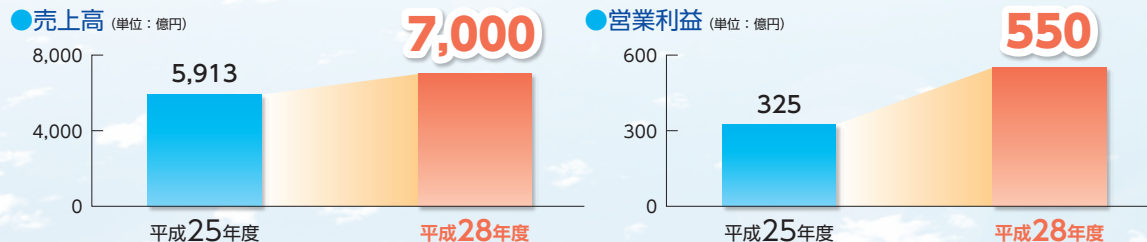
スローガン

「持続性ある成長への基礎固め」 －現業の足固めと新商品・新ビジネスの創出

方 針

- ① もの作りの再点検
- ② ダントツな品質への再挑戦
- ③ 新商品・新技術・新ビジネスの創出
- ④ 人材の活用・育成

目標経営数値



※上記の将来の業績に関する目標経営数値は公表時点でのリスク要因を織り込んでおりますが、実際の業績は国内外の経済情勢、市況、為替の動向等により異なる結果となり得ることをご承知おきください。

セグメント別の取組み

●シール事業

最適地生産・地産地消の考え方に基づく生産体制の効率化に取り組むとともに、次世代自動車向けの新商品の開発や、中国等海外での現地顧客への拡販を図ってまいります。

●電子機器部品事業

省人・自動化や品質改善等によるさらなる競争力向上、スマートフォン向けでの中国・韓国等海外現地顧客への拡販、車載向けの事業強化等を進めてまいります。

●ロール事業

生産品質（品質・価格・納期）を確保して顧客の信頼に応え、営業・生産・技術一体となって拡販に取り組むとともに、当社グループのシナジーを発揮して収益力の向上を図ってまいります。

Corporate Data

●会社データ

■ 会社概要

(平成26年9月30日現在)

商 号 NOK株式会社
(英文 NOK CORPORATION)
本 社 所 在 地 〒105-8585 東京都港区芝大門1丁目12番15号
電 話 03 (3432) 4211
ホームページアドレス <http://www.nok.co.jp>
設 立 昭和14年12月2日
資 本 金 23,335百万円
従 業 員 数 3,078名 (当社グループの従業員数：45,354名)

主要な事業所

支 店

仙台、水戸、宇都宮、熊谷、東京、松本、
多摩、神奈川、富士、浜松、安城第一、
安城第二、名古屋、大阪第一、大阪第二、
広島、福岡

事業場

福島、二本松、北茨城、静岡、鳥取、熊本

研究所

湘南開発センター (藤沢)、
東海膜開発センター (東海)

■ 取締役・監査役および執行役員

(平成26年10月1日現在)

取締役

取締役会長 鶴 正 登
取締役社長 土居 清 志
専務取締役 飯田 二郎
専務取締役 黒木 安彦
専務取締役 渡邊 哲
取締役 鶴 鉄二
取締役 小林 俊文

監査役

常勤監査役 本里 和明
常勤監査役 志賀 清
監査役 梶谷 玄
監査役 瓦田 榮三
監査役 小林 修

執行役員

常務執行役員 長澤 晋治
執行役員 土屋 篤信
執行役員 黒木 雄一
執行役員 増本 義人
執行役員 山崎 幸夫
執行役員 村山 雅夫
執行役員 大橋 一寛
執行役員 藤本 和彦
執行役員 沢木 新一
執行役員 矢野 武臣
執行役員 山下 博史
執行役員 柳本 剛
執行役員 小林 伸之
執行役員 菅谷 良裕
執行役員 吉田 敦
執行役員 高橋 則幸
執行役員 樋本 章治
執行役員 小林 正信

■ 主要なグループ会社

シール事業

【主要製品】
オイルシール
Oリング
防振ゴム
樹脂加工品
ガasket
化学合成品
メカニカルシール

ユニマテック株式会社 (茨城県北茨城市)
NOKエラストマー株式会社 (福岡県嘉麻市)
フガク工機株式会社 (静岡県菊川市)
佐賀シール工業株式会社 (佐賀県嬉野市)
タイNOK Co.,Ltd. (タイ チョンブリ県)
無錫NOKフロイデンベルグ Co.,Ltd. (中国 江蘇省無錫市)
NOKアジア Co.,Pte.Ltd. (シンガポール)
関西NOK販売株式会社 (大阪府大阪市)
NOKフロイデンベルググループセールスチャイナCo.,Ltd. (中国 上海市)

電子機器 部品事業

【主要製品】
フレキシブルサーキット
プレジジョンコンポーネント

日本メクトロン株式会社 (東京都港区)
メクテック Corp. 台湾 (台湾 高雄市)
メクテックマニファクチャリングCorp.タイLtd. (タイ アユタヤ県)
メクテックマニファクチャリングCorp.珠海Ltd. (中国 広東省珠海市)
メクテックマニファクチャリングCorp.蘇州Ltd. (中国 江蘇省蘇州市)
NOKプレジジョンコンポーネント タイ Ltd. (タイ アユタヤ県)
メクテック Corp. 香港 Ltd. (中国 香港)

ロール事業

【主要製品】
事務機用ロール製品

シンジータック株式会社 (神奈川県横須賀市)
久喜ロール工業株式会社 (埼玉県久喜市)
シンジータックベトナムCo.,Ltd. (ベトナム ハイフォン市)
シンジータック香港 Co.,Ltd. (中国 香港)

その他事業

【主要製品】
特殊潤滑剤
その他

NOKクリューバー株式会社 (茨城県北茨城市)

Stock Information

●株式の状況

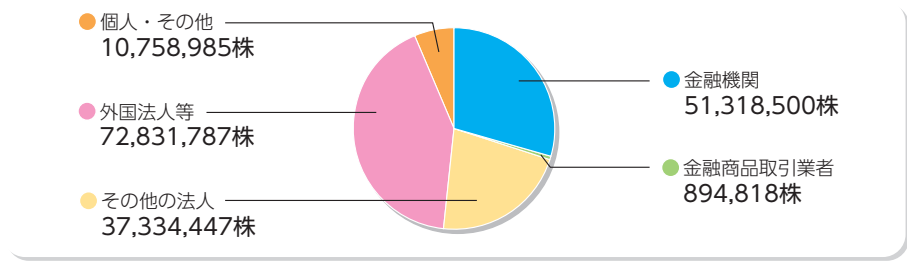
■株式の状況

(平成26年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 600,000,000株
- 発行済株式の総数 173,138,537株
- 株主数 7,830名
- 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
フロイデンベルグ・エス・エー	43,457	25.1
正和地所株式会社	8,773	5.1
第一生命保険株式会社	8,000	4.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,910	4.0
トヨタ自動車株式会社	6,809	3.9
全国共済農業協同組合連合会	5,190	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,758	2.7
株式会社三井住友銀行	4,270	2.5
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,571	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	3,000	1.7

●所有者別株式数



Shareholder Information

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120—232—711（通話料無料）
公 告 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nok.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によっ て電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行います)
単 元 株 式 数	100株
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部 略称：NOK（コード7240）

【お知らせ】

- 住所変更等のお手続きについて
 - 株主様の住所変更等各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設された口座管理機関（証券会社等）で承ります。お手続きの詳細につきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください（株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください）。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金について
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきまして、本年よりはがき郵送によるお知らせを廃止し、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.nok.co.jp>）に掲載しております。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

単元未満株式の買取請求のご案内 ～単元未満株式（100株未満）をお持ちの場合～

株主様が所有されている単元未満株式（100株未満の株式）につきましては、証券市場での売買ができない等制約がございます。単元未満株式は、当社に対し時価で売却（買取請求）できますので、ご希望の株主様は次の通りお問い合わせください。

- 証券会社等の口座に記録された単元未満株式の買取請求手続き・手数料等の詳細につきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された単元未満株式は、当社所定の手続きにより時価で売却（手数料無料）することができます。お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

例：60株買取請求の場合



NOK CORPORATION



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。